

議会だより

2010.4.26

発行：福島県西会津町議会

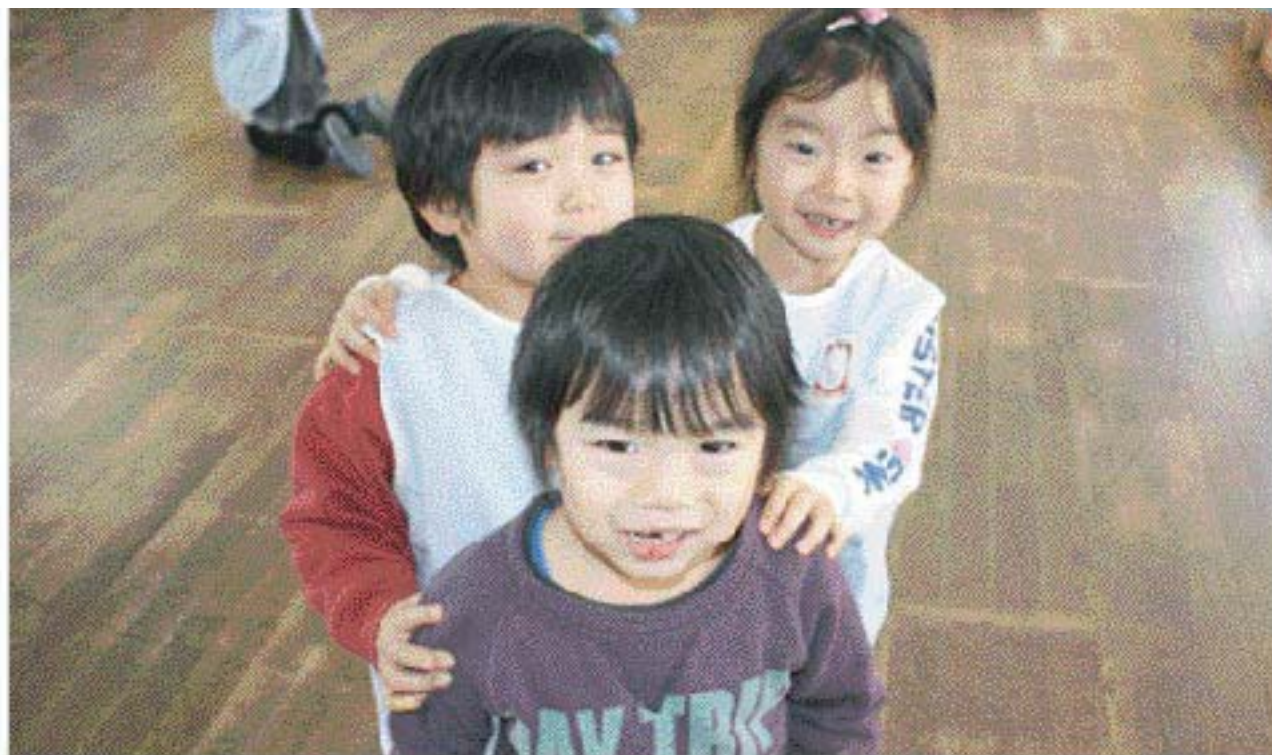
編集：議会広報特別委員会

にしあいづ No.109



- 3月議会定例会の内容は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 当初予算案可決、一般会計51億円・・・・・・・・・・ 2
 - 新年度からの変更点、保育料2人目から無料など・ 4
 - 論点・争点！和太鼓事業って必要？・・・・・・・・・・ 6
 - 副町長に県から派遣の和田正孝さん・・・・・・・・・・ 6
- ここが聞きたい！一般質問13人が登壇・・・・・・・・・・ 9
- 「よりっせ」店長鎌倉明雄さんにインタビュー・・・ 16

教科書もらったよ（野沢小入学式）



当初予算**51**億円

3月定例会

声が響くまち」

平成22年度当初の貯金と借金

貯金 5億1724万円

借金 51億941万円

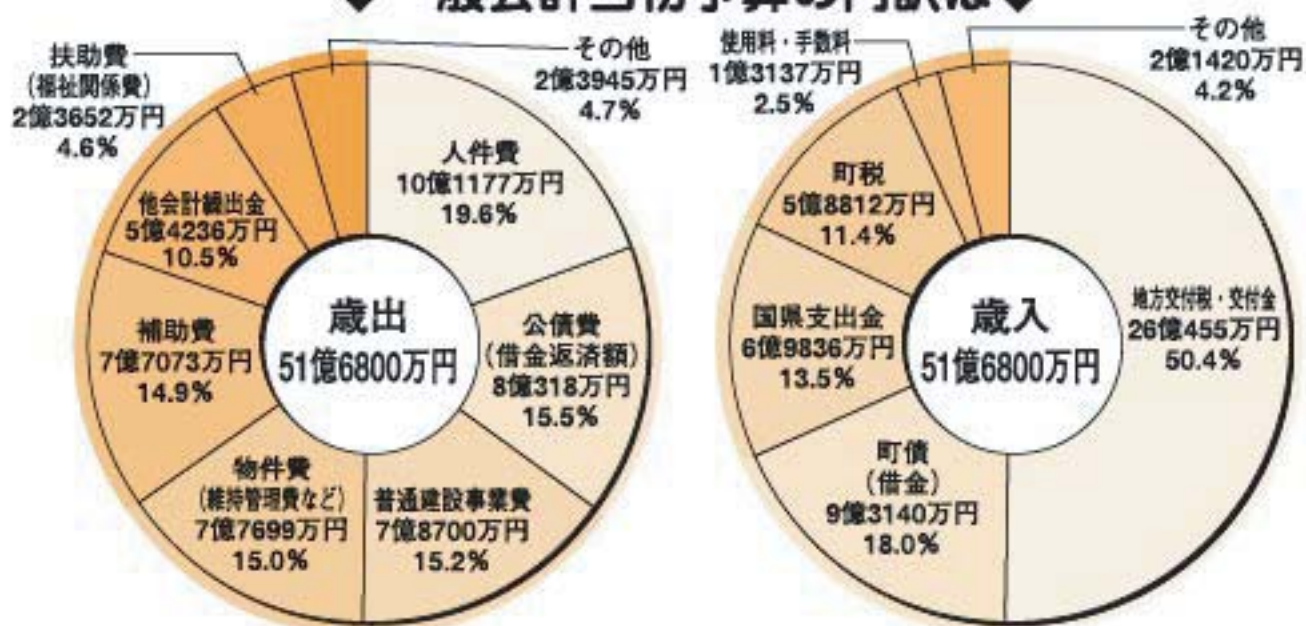
※貯金は財政調整基金の金額、借金は地方交付税で交付される分を除いた実質の金額。なお、地方交付税で交付される金額は65億289万円。

平成22年3月議会定例会を3月12日から26日まで、15日間の会期で開きました。

提出された議案は、弥生、弥平四郎、小杉山、大滝（黒沢）に町民バスを運行するための条例改正や平成22年度当初予算、平成21年度補正予算、副町長人事案など、町提出の40件と議会委員会条例を改正する議員提出議案1件で、全議員がすべての議案に賛成し、原案のとおり可決しました。

一般質問では、議長を除く全議員が質問し、町の考えや対応をたどりました。

◆一般会計当初予算の内訳は◆



平成22年度一般会計

新総合計画・伊藤町政本格スタート

キーワードは「みんなの

会計名	平成22年度予算額	前年度比増減額	増減率		
一般会計	51億6800万円	1億9300万円	3.9%		
特別会計	工業団地造成事業	8868万円	0万円	0%	
	商業団地造成事業	1181万円	△500万円	△29.8%	
	住宅団地造成事業	1440万円	△2万円	△0.1%	
	下水道施設事業	2億3375万円	1790万円	8.3%	
	農薬集落排水処理事業	9982万円	△2億7297万円	△73.2%	
	個別排水処理事業	6208万円	2801万円	82.2%	
	老人保健	66万円	△84万円	△55.9%	
	後期高齢者医療	1億1622万円	410万円	3.7%	
	国民健康保険	保険関係	10億1194万円	465万円	0.5%
		診療所関係	4億5594万円	△1487万円	△3.2%
	介護保険	9億3074万円	2978万円	3.3%	
	簡易水道等事業	9038万円	△579万円	△6.0%	
	水道事業会計	収益的収支	1億4739万円	△1106万円	△7.0%
資本的収支		8276万円	△1605万円	△16.2%	
合計	85億1457万円	△4916万円	△0.6%		

平成22年度はこう変わる!!

①保育料が2人目から無料に

同じ年度に複数の子どもを保育所に預けている場合、3人目から無料だった保育料が今年度から2人目からに変更になりました。

また、午前8時から午後4時までだった通常の保育時間が午前7時30分から午後6時までに変更になりました。さらに保護者の病気など、急に子どもを保育することができなくなった場合に、一時的に子どもを預かる一時保育事業が今年度中に始まる予定です。



野沢保育所入所式

②百歳100万円の敬老祝金が30万円に

百歳になると100万円支給されていた特別敬老祝金の金額が30万円になりました。

ただし、今年度以降百歳になられた方には医療、生活支援金として毎年16万円生存期間中に支給されます。例えば、105歳まで生存した場合の総支給額は110万円になります。



百歳賀寿 三瓶ヨノさん (100歳・山浦)

当初予算などの議案を分析！

③ 結婚祝金10万円支給

西会津町に住所がある方が結婚した場合、結婚祝金として10万円支給されます。また、町が所有する定住促進住宅等の住宅の家賃6カ月分無料を選択することも可能です。

ただし、この祝金は夫婦のどちらかが50歳未満であることが支給の条件になります。

なお、結婚時、西会津町に住所がなくても3カ月以内に住所を西会津町に移し、申請した方については支給の対象となります。



敬老会

④ 敬老会は71歳から

今まで敬老会招待者の対象年齢は70歳以上でしたが、今年度は71歳以上になります。これは今後75歳に引き上げるための経過措置で、来年は72歳以上、再来年は73歳以上となり、対象者が75歳以上になるまでこの措置が続きます。

⑤ 弥生など4集落に町民バス運行開始

町民バスが運行していなかった弥生・弥平四郎・小杉山・大滝（黒沢）の4集落で4月から町民バスの運行を開始しました。



弥生行き町民バス

3月議会の論点・争点

創作和太鼓事業って必要？

平成22年度一般会計当初予算案と3年間の事業内容や事業費を記載した実施計画に「西会津創作和太鼓創設事業」として500万円の事業費が計上されました。

複数の議員から予算審議や一般質問で、「和太鼓ブームは過ぎ去ったのに、この事業は必要なのか」や「500万円の和太鼓購入費が計上されているが、実施団体の状況調査や国県の補助金の有無など、事前の綿密な計画が必要ではないか」といった質疑や意見が出ました。町長から「平成22年度に国県の補助金の有無などの調査を行う。6月議会で予算を補正したい」との答弁がありました。

財産区と町との関係は？

本町財産区の議会制廃止に伴い、管理会を設置する条例案が町から提出されました。

その議案審議等の中で複数の議員から「そもそもなぜ町が財産区と関わり合いがあるのか」や「財産区は財産区で独自に運営すればいいのではないか」といった質疑が出ました。

その質疑に対し担当課長から、「財産区とは別の特別地方公共団体である。しかし、地方自治法上、執行機関はその所在市町村の首長であり、財産区独自の議事を置かない場合は、町議会が議決機関となる」との説明がありました。



本町財産区の管理の様子

人事案件に同意

副町長に和田正孝さん



和田正孝さん

略歴

中央大学法学部卒。平成元年福島県職員に採用。環境保全課をふりだしに、南会津行政事務所、選挙管理委員会、医務福祉課、いわき地方振興局、企画調整課などに勤務。43歳。相馬市出身。

本町財産区管理委員

本町財産区管理委員は財産区議会の廃止に伴い、設置されました。委員は次の5名で、全員、前本町財産区議会議員です。

山内龜八郎さん(1町内)

橋谷田政雄さん(1町内)

石川 實雄さん(1町内)

橋谷田慎一さん(1町内)

若林 陽三さん(2町内)

人権擁護委員

田崎 映子さん(芝草)

診療所に多額の繰出金、なぜ？



西会津診療所

12月議会の補正予算で一般会計から診療所会計に約2900万円を繰り出す予算案が提出され、議決しました。今回3月議会の補正予算でもさらに約2900万円を繰り出す予算案が提出されました。この点について議員から「なぜこのように多額の繰出金が必要なのか」との質疑が出ました。その質疑に対し担当課長から、「職員の年齢の高齢化や事務長の設置などによって人件費が高くなっている。今まで診療所会計には、当初予算で一般会計から繰出金を計上することはなかったが、平成22年度は2000万円繰出金を計上した。今後は、運営の合理化を図りたい」との答弁がありました。

町が町に補助金？



適正な形で補助金を支出し、町の魅力の発信を

平成22年度一般会計当初予算案に西会津元氣グリーンツーリズム協議会に対する補助金(90万円)が計上されました。西会津元氣グリーンツーリズム協議会は昨年12月に設立しましたが、その設立總會の資料では町が会員になっており、「町が町に補助金を出す形になる。問題はないか」との質疑が出ました。その質疑に対し担当課長から、「正式には町は会員ではなく、アドバイザー的な立場になる」との答弁がありました。

請願陳情

3月定例会において、次の請願5件を採択しました。また、意見書6件を内閣総理大臣等政府関係機関などに提出しました。

意見書提出の請願について

請願者 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多地区連合議長 秋山光晴

社会的セーフティネットの拡充に関する意見書提出の請願について

請願者 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多地区連合議長 秋山光晴

多重債務者対策の推進を求める意見書提出の請願について

請願者 耶麻喜多地区労働福祉協議会長 秋山光晴ほか

提出した意見書

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書
提出先 内閣総理大臣・外務大臣・総務大臣ほか
ほか請願に関連した5件の意見書

採択した請願

(敬称略)

「公共工事における賃金確保法(仮称)の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書の提出を求める請願
請願者 全建総連会津理事長 星次男

米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願
請願者 会津農民運動連合会長 佐藤弘之

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める

総合計画案可決

—15年ぶりに総合計画を策定—

議会臨時会

第1回議会臨時会

平成22年第1回臨時会を1月21日に開催し、町から提案のあった「西会津町総合計画案」を原案のとおり可決しました。

総合計画は、まちづくりを進めていく上で最も基本となる計画で、この計画に基づいてまちづくりを行っていくこととなります。

総合計画は当初、平成17年度に初年度を迎える予定でしたが、合併しない自立のまちづくりによる「まちづくり基本条例」の制定作業を優先したことで策定が遅れ、予定より5年遅れで本年度から施行となりました。

総合計画は、「まちづくり基本条例」に基づき、町民参加や意見公募、議会との調整を経て完成しました。

総合計画は「みんなの声が響くまち、にしいづ」を基本に、「こころ豊かな人を育むまちづくり」、「豊かで魅力あるまちづくり」

くり、「人と自然にやさしいまちづくり」を目指しています。

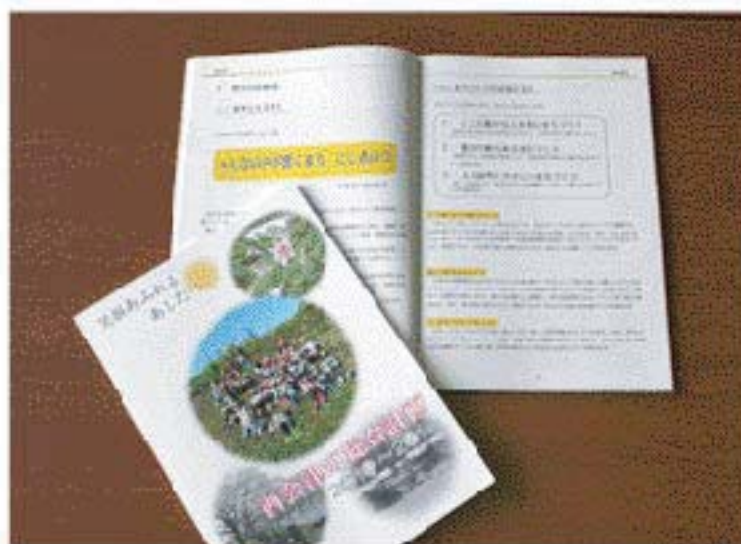
問 計画に伊藤町長の独自色は盛り込まれたか。

町長 策定に2年をかけ、町民の意見等を基に策定した。私の考えとすり合わせを行ったが、90%以上は良しとした。

問 基本構想の大きな

役割の一つに西会津の基幹産業は何なのかというのがあると思うが、それが見えてこない。どういう認識で総合計画を策定したか。

町長 町の基幹産業は農林業だと認識している。取り組む内容については、基本計画の中で対応する。こういう不景気の中の活路は農林業だと思っている。



全戸に配布された総合計画

第2回議会臨時会

耐雪型パイプハウスの復旧費用に補助金

平成22年第2回臨時会を2月9日に開催し、町から提案のあった4議案をすべて原案のとおり可決しました。

議案は、平成21年度の一一般会計や特別会計の補正予算で、国の第2次補正予算の成立により、市町村に交付金が交付されることから、事業を行う



12月の大雪で倒壊したパイプハウス

ための予算を計上しました。また、併せて除雪費用の追加もしました。

この交付金は、市町村の施設の改修や修繕費用が対象となり、町では、主に次のような事業を行います。

- 耐雪型パイプハウスの復旧補助金(370万円)
- さゆり公園野球場の砂の入れ替え(2500万円)
- さゆり公園内の街路灯の増設等(400万円)
- ポンプ車の屋根塗装など消防関係(1420万円)

町政のここが聞きたい 議員は問う 13人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

- 目黒一議員
 - ①来年度予算について
 - ②第3期中山間直接支払事業について
 - ③町史編さん事業について
- 多賀剛議員
 - ①新年度当初予算の特徴とマニフェストの実現について
 - ②町内の企業、事務所の支援策について
 - ③交流人口を増加させるための「町のPR」について
- 荒海清隆議員
 - ①農政について
 - ②総合計画について
- 青木照夫議員
 - ①地域主権について
 - ②農家への戸別所得補償制度について
 - ③後期高齢者医療保険料の軽減策について
- 五十嵐忠比古議員
 - ①保育所統合の見直しは
 - ②町政懇談会と町民提案制度について
 - ③ゴミの不法投棄について
- 清野佐一議員
 - ①実施計画の進め方について
- 渡部昌議員
 - ①来年度予算の編成方針と姿勢について
 - ②小学校の統合について
- 佐野悦朗議員
 - ①防災計画について
 - ②町臨時職員について
- 武藤道廣議員
 - ①来年度予算について
 - ②観光費と交流人口増加策について
 - ③地域活性化実施団体への支援について
- 長谷沼清吉議員
 - ①町長の政治姿勢について
 - ②理想とする小学校統合は
- 長谷川徳喜議員
 - ①町の課題に対する町長の取り組みは
 - ②過疎対策・嫁対策について
- 清野邦夫議員
 - ①町長の政治姿勢について
- 清野興一議員
 - ①高齢者・障害者福祉に関する課題について
 - ②実施計画について

問 町長公用車の経費削減状況は

答 結果が出るにはしばらく時間を要する

長谷沼 清吉議員

問 町長選挙マニフェストの実現状況について。
 (1) 町長公用車の経費の削減状況は。
 (2) 福祉タクシーは。
 (3) 振興公社の社長職退任の予定は。

業振興事業、累積欠損の削減、社員の意識改革に取り組んでいる。これらの状況や経営状況の安定などを見定めながら、去就について判断したい。

町長
 (1) 新しく町長車にした車は、排気量が小さく、経済性に優れ、環境にやさしい車である。

問 教育委員会が考えている理想の小学校とは。また、教科教室型中学校との関係で配慮すること

教育長

児童は望ましい人間関係のもと、教師の指導力や友達と競争しながら確かな学力を身につけてい



3月に納車となった新町長車
 価格は283万円

問 地方分権や住民自治が進まない原因は

答 国から権限や税源の移譲が遅れたため

問 「地方分権に基づき住民自治の必要性」がさげばれているが、地方分権や住民自治はほとんど進んでいない。その原因はどこにあると考えているか。

また、地域主権を確立するには行政情報の公開と住民との対話が必要だと考えているが、町長はどう考えているか。

町長 地方分権が進まない原因は、国からの権限と税源の移譲が進まなかったことである。特に税源移譲は重要で、地域主権を確立するためには必要不可欠である。

町民主権の推進には、情報の共有と町民との対話が重要である。町民との対話は私の政治理念の基本であり、町政懇談会などで積極的に進める。

青木 照夫 議員

問 税金の累積滞納額の縮減策は、

総務課 課長

徴税担当者の努力にもかかわらず滞納額が増えている。税は自治体を運営する基本的な財源であ

り、負担の公平性は確保しなければならぬ。対策については町長を本部長とした税等徴収対策本部会議で協議し、その縮減に努める。



住民との対話を（総合計画町民懇談会）

問 保育所児童数の減少による保育士への影響は

答 保育サービスを拡充するため保育士は削減しない

五十嵐 忠比古 議員

問 本町では児童数が急激に減少している。この4月からは新郷保育所と群岡保育所が統合する。今後の児童数の見込みは。また、保育士に余剰が生じると思うが、保育士への影響はないか。

町長

保育所入所児童数は、現在140人であるが、今後は130人前後で推移すると思われる。

保育士については、4月から保育時間の延長と

一時保育を実施することや、子育てサークル活動とひだまり子どもクラブ（放課後、小学生を預かる事業）を保育士が行うこととなるため、保育士の人数は変わらない。

問 緊急雇用対策事業

を活用して、不法投棄の回収作業を実施した。

その回収の状況と効果は。また、本町の不法投棄の監視体制はどうなっているか。



ひだまり子どもクラブは保育士が対応する

町民情報課長

巡視の結果、町内265カ所に廃棄物があった。その総量は、8.17トンであった。

効果は、クリーン推進員や自治区長と連携がとれ、環境保全の意識が向上したことである。

監視体制については、

県が委嘱した不法投棄監視員は1名いるが、町には不法投棄監視員はおらず、クリーン推進委員に協力してもらっている。

問 平成22年度の具体的な事業内容は

答 保育時間の延長、グリーンツーリズムの推進など

渡部 昌 議員

問 町長は「西会津町総合計画」に基づき平成22年度予算を編成したと云うが、具体的にはどんな事業があるのか。

まちづくり政策課長
総合計画の体系に基づき説明すると、次のようになる。

「こころ豊かな人を育むまちづくり」関係では、一時保育や保育時間の延長、創作和太鼓の創設な



今年度から保育時間が延長に
(尾野本保育所)

どである。

「豊かで魅力あるまちづくり」では、職業紹介所の開設、グリーンツーリズムの推進、携帯電話の施設整備などである。

最後に「人と自然にやさしいまちづくり」では町民バスの運行自治区の拡大、二酸化炭素排出量削減対策などである。

問 21世紀を担う子ども

もたちのため、教育環境を整える必要がある。小学校の統合を推進すべきと思うがどうか。

町長
小学校の統合に関しては、現在「西会津町小学校適正配置審議会」に諮問しており、今後答申をもらうことになる。答申の内容については、重く受け止め、尊重していく考えである。

健康福祉課長
医師の人数については、西会津診療所の常勤医師を1名増やし3名にする。交通の便については、西会津診療所の町民バスのダイヤを4月から一部改正したが、利便性の向上について今後も検討したい。

建物については、西会津診療所は、平成22年度増改築を行う予定である。群岡診療所については、

問 群岡診療所等の建物の改修計画は

答 中長期的な医療計画を策定し明らかにする

清野 興一 議員

問 医療に関し、3年間の事業計画である実施計画に記載があるのは医療機器の更新だけである。

群岡診療所は、建物の老朽化や診療所前の道路の幅の狭さ、交通の便の悪さなどの問題がある。西会津診療所の関係や医師の人数なども実施計画で明らかにすべきではないか。

医師と協議しながら必要な補修を行っている。今後、診療所の建物も含めた中長期的な医療計画を策定する。

問 後期高齢者医療制度について問う。

平成22年度に保険料が値上げされるが、町長の見解と対応は。

また、制度そのものにも問題があるとする意見が

あるが、町長の考えは。

町長
後期高齢者医療制度は、保険者を単位で設置し、保険料も単位となる。国民健康保険のように医療費の抑制や保険料の減税など、市町村の努力が反映されないことや年齢のみで画一的に対象者を分けるなど、賛成できない制度である。



群岡診療所

問 各施策の見直しの経過とその基準は

答 費用対効果等により実施計画で調整した

問 平成22年度の予算編成にあたり、各施策の見直しや評価はどのようにしたか。また、その施策の選定理由は。

町長

「総合計画」に基づく3年間の実施計画により調整した。大きな成果をあげてきた施策は継続し、費用対効果や直感的な観点から見直すべき施策については、改善、改革をした。

例えば「国際芸術村事業」は国内芸術家を募集対象とするように改善した。また、沖縄県宮古島市で冬期間、長期にわたって滞在する事業は中止とした。

問 診療所の運営状況と今後の経営見直しは。また、薬剤費の状況は。

健康福祉課長



外国人芸術家の招へいは見直しの対象に
(国際芸術村)

武藤道廣議員

診療所の収入は横ばいであるが、診療報酬の改定や専門職種が多いこと、職員の年齢が年々高くなることなどの人件費の影響で、経営は厳しい状況である。

平成22年度においては、コンピュータの導入によるレセプト点検の省力

化や薬剤の在庫管理の適正化で経費節減を図る。また、薬剤の院外処方も検討したい。

薬剤費については、診療報酬の引き下げ等により、薬剤で大きな利益をあげるのには難しく、経営的にも大きな影響を及ぼしている。

問 正職員をもっと採用すべき

答 民間企業の採用が増えるのが理想的

佐野悦朗議員

員をもっと採用すべきと思うかどうか。

総務課長

町は税金や地方交付税等の貴重な財源で運営している。事務事業の効率化の視点から定員の見直しや削減が求められているのも事実である。

町長

町では職員数の適正化計画を策定しており、平成26年度までに100人にする予定である。議員の考えは理解するが、民間企業の採用が増えるのが理想的である。町が受け皿となるのは、緊急的な場合と考えている。



町の正職員をもっと採用できないか (町役場)

問 町では正職員が産休や育児休暇、病氣休暇を取得した場合に臨時職員を採用している。一方、条例上の職員定数は164人であり、現在の正職員数の128人とは36人の差がある。現在の経済不況や町の将来を考えるなら、正職

問 過疎・帰郷・若者定住対策の取り組みは

答 最重点的に進める

長谷川 徳 喜 議員

問 過疎対策と帰郷対策、若者の定住対策は町の重点施策として、取り組むべきである。この問題が取り組まれていないことは、集落の壊滅につながる。町と議会が一体となり、取り組むべきと思うが町長の考えは。

まちづくり政策課長

過疎対策と定住対策は重点的に進める課題だと認識している。これまでの対策に加え、グリーン



県や会津坂下町などでは、今年度結婚支援に取り組む(3月30日付朝日新聞)

ツーリズム事業を始める。交流のある横浜市や宮古島市とは、経済交流に力を入れ、地域活性化につなげる。

後継者対策としては、結婚活動への支援を進める。町全体が一体となり、取り組むべき課題だと考えている。

問 町の平成22年度予算は、前年度より1億9千万円ほど増加しているが、財政の面から疑問が

残る事業もある。沖縄や在京西会津会との交流である。山口前町長のしがらみ的なものは取りやめるべきと思うがどうか。

町長

予算編成にあたっては、事業を精査し選別している。

宮古島市との交流は、経済面での交流を広げ、在京西会津会との交流はその内容を検討していく必要があると考えている。

問 第3期中山間地域等直接支払事業の変更点は

答 高齢化に配慮し、より取り組みやすい事業に

目黒 一 議員

問 平成22年度からスタートする第3期中山間地域等直接支払事業の変更点は。

経済振興課長

高齢化の進行に配慮し、より取り組みやすい事業になった。また、取り組み面積の維持・拡大を目指したことが大まかな変更内容である。具体的には次の3点である。

(1) 10割単価の交付用件に耕作放棄地の復旧や自己施工による農道・水路の整備が追加となる。

また、別の協定参加者が農地を引き受ける体制づくりが交付用件となる。

(2) 近くの集落協定が小規模・高齢化集落の農用地を一体的に取り込んだ場合、加算単価が適用される。

(3) 1ヘクタール未満の小規模な圃地や飛び地



中山間事業の活用を

でも合計で1ヘクタール以上であれば協定農用地とすることができる。

問 町史編さん事業について問う。

事業開始から25年間の総経費は、また、町史の今後の活用計画は。

教育課長

総経費は3億2千9百万円である。その内容は、町史刊行委員と専門委員の報酬や交通費、原稿執筆料や監修料、町史の印刷製本費などである。今後、歴史講座等で利用する予定である。

問 **ポイ捨て禁止条例を制定する考えは**

答 **今後検討する**

清野 佐一 議員

問 道路に捨てられた空き缶やゴミが町を汚し、景観を損ねている。快適な環境づくりの推進のためにも「ポイ捨て禁止条例」を制定する考えはなにか。

町長 新年度において町の環境保全に関する理念や目標を定めた基本計画を策定する。

「ポイ捨て禁止条例」については、生活環境の保全や街中の景観保持対策として有効な手段だと考えている。今後検討したい。

問 新たに創作和太鼓に取り組むとのことだが、その目的と経緯は。また、具体的な内容は。

町長 本町独自の新しい文化を創造するために、みんな

で楽しめる「西会津和太鼓」を創設したいと考えている。今後、専門家の指導、助言をもらい、和太鼓講座を開設したい。

この事業は年間の活動を通じ、各種イベントや観光事業など、本町のPR、地域活性化に大変効果があるものと考えている。



「ポイ捨て禁止」を呼びかける看板の近くにも大量のゴミが

問 **議会に対する基本的な考え方や姿勢は**

答 **相互の連携を図り、十分な説明をしたい**

清野 邦夫 議員



町議会との連携や協力を

問 町政の執行にあたり、議会に対する基本的な考え方や姿勢は。

町長 憲法と地方自治法では、議事機関としての議会と、執行機関としての長を設置することを規定している。議員と首長は、住民の直接選挙によって選ばれる二元代表である。協働のまちづくりを進

めるには、町民が充実した生活を送れるよう、それぞれの役割と責任を果たすことが必要である。

そのために議会と首長がそれぞれの立場で、町民の意向を酌み取り、相互の連携や協力により町民本位の行政運営をしていくことが重要である。

また、チェックと協調の関係と、公平で民主的

な政策運営を果たしていくことが大切である。

議会との対話は、大変重要なことと認識している。議会審議や町政運営上で、調整や説明が必要な案件については、本会議や全員協議会等で理解を得るよう十分な説明をしたい。

問 新年度予算の特徴的な事業は

答 保育料2人目以降の無料化など

多賀 剛 議員

問 新年度予算について聞う。

今までと違った特徴的な事業は何か。

町民提案制度等で出された提案で施策や予算に反映したものがあるか。

「みんなの声が響いた」予算編成ができたか。

町長

新年度、グリーンツーリズムへの支援や保育所入所児童2人目以降の無料化、結婚祝金の支給などの新たな事業を実施す



町民意見の反映を（役場正面玄関前提案箱）

町民提案制度では59件の提案や意見をもたらしたが、予算や施策としてすぐに反映できるものは少なかった。

「みんなの声が響くまちづくり」については、新年度から町政懇談会を実施し対応する。

問 同一年度に2人以上保育所に預けている場合、2人目以降の保育料を無料化する条例を町長

は12月議会に提案し、議案も議決した。

しかし、本来町長がマニフェストに掲げていたのは、上の子が小学生であっても、2番目以降の子どもの保育料を無料にするというものではなかったのか。

町長

現在のところは、保育所に入所している児童1人分は負担してもらおうと考えている。

問 「協働のまちづくり」の具体的な内容は

答 みんなの「意識改革」の必要性など

荒海 清 隆 議員

問 総合計画に記載されている「協働のまちづくり」については、抽象的な言葉が多く分かりにくい。具体的な内容は、まちづくり政策室長

総合計画の基本計画では「協働のまちづくり」の推進のために4つの方針を掲げている。

一点目は、「意識改革」を進めることである。みんなの意識改革が必要だということ書かれている。

二点目は、「情報の共有」である。みんなでまちづくりを進めるためには、情報を共有することが大切であり、特に行政は多くの情報を持っていることから、できるだけ公開していくことが必要だと書かれている。

三点目は、「町民の意見の反映とまちづくりへの

参加」である。町民の参加の場として検討会議や町民懇談会、意見公募をあげている。

四点目として、「多くの町民の参加」である。できるだけ多くの町民が参加し、協働のまちづくり

を進めることが書かれている。

「協働のまちづくり」は町民・議会・行政がそれぞれの役割や責務を果たすことによって成熟してくる。



総合計画の92ページに記載されている「協働のまちづくりの推進」

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。今回は、道の駅にしあいづ「よりっせ」の店長鎌倉明雄さん（端村）です。

—これまでどのような仕事をされてきましたか。
高校卒業後、大阪の調理師専門学校を出て、大阪、長野、ニュージラード、シンガポールなどのレストランやリゾートホテルで調理師として働いてきました。

—帰って来て、ふるさと「にしあいづ」をどう感じましたか。
昔と変わらない雰囲気があり、ゆっくりと時間が流れている感じがしました。また、お年寄りが多いせいか、とても静か



「よりっせ」のターミナル化に意欲を燃やす鎌倉明雄さん

プロフィール

住 所：端村（群馬）
年 齢：44歳
家 族 構 成：妻・父・子供4人の7人家族
趣 味：ドライブ・野球観戦（特に高校野球）

な気がします。

—「よりっせ」をどのような店にしたいと考えていますか。
テーマを駅とし、「人」、「物」、「文化」などが総合的に交流する場、いわば、「西会津のターミナル」となればと考えています。

—町議会や町に望むこ

とは何ですか。

議会を、単に互いの議論の場として捉えるのではなく、本当に町民や町のために必要なことを選定し、実現を目的にした場としてほしいと思います。

—「ご協力ありがとうございました。今後も「活躍を期待しています。」

議会の動き

議会運営委員会 議会の活性化の状況を視察

2月3日から5日に議会審議の活性化等議会の活性化について研修するため、議会運営委員会が視察研修を行いました。視察先は、全国町村議会議長会（東京都）と茨



茨城県大洗町議会での研修

城県大洗町議会です。具体的には、次の内容について研修しました。

全国町村議会議長会 議会の活性化の取り組み・議員の提案権・議会基本条例について

茨城県大洗町議会 休日議会・模擬議会・議会主催の住民懇談会・議会報告会の実施状況について

両方とも活発に質問や意見交換を行いました。

編集後記

厳しい冬を過ごしたからこそ、満開の桜はすばらしく、美しい。すっかり春らしい気候となり、新年度が本格的にスタートした。一般会計当初予算51億円は慎重審議の末、可決した。限られた財源の中、町民生活に密着した施策を重点とした内容となった。経済や雇用状況は、まだまだ厳しい冬から抜け出せないが、春の来ない冬はない。この厳しい時期こそ「まちづくり基本条例」のもと、町民・議会・行政の三者が一体となって、満開の桜を咲かせられるよう、協働のまちづくりをまい進しなければならぬ。

（多賀 剛）

- 編集委員
- 委員長 荒海 清隆
 - 副委員長 青木 照夫
 - 委員 目黒 一
 - 多賀 剛
 - 武藤 道廣